

## 平成 23 年度 新磯地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

|        |   |
|--------|---|
| 申請事業名  | ざる菊花見会 <span style="float: right;">【 No. 1 】</span>   |
| 申請団体   | ざる菊愛好会  |
| 事業目的等  | <p>平成 21 年度から、勝坂歴史公園南側に位置するところ 600 坪に、住民有志で白、黄、紅、紫の約 1,200 株のざる菊を栽培しており、10 月下旬から 11 月中旬までざる菊の花見会を開催する。(入場無料)</p> <p>新磯地区は、雄大な相模川や段丘の樹木が多く残る自然豊かな地域であるとともに、史跡勝坂遺跡などの貴重な文化財、相模の大凧や相模川の芝ざくらまつりなどの地域活性化イベントなど、地域資源が非常に豊富なすばらしい地域であり、こうした地域の良さをさらに高めるため、住民有志による「ざる菊」による花の名所づくりを推進し、地域の更なる活性化に寄与することを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ざる菊花見会(10 月下旬から 11 月中旬まで)の開催</li> <li>・勝坂遺跡縄文まつりとの連携強化</li> <li>・一日楽しめる秋の新磯地区巡りの推進</li> </ul>   |
| 交付決定日  | 平成 23 年 5 月 25 日  |
| 交付決定金額 | 340,000 円 (全体事業費 356,006 円)   |
| 団体実績報告 | <p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレットの作成(1 万 2 千部)及び市役所と農協施設に設置</li> <li>・会場準備(10 月 28 日～)</li> <li>・看板、幟旗等の設置など</li> <li>・花見期間 10 月 28 日～11 月 18 日、見学者数 7,000 人</li> <li>・野菜の販売、ヤキイモの販売など</li> <li>・勝坂遺跡縄文まつりとの相互協力(11 月 3 日)</li> <li>・花見会式典(11 月 5 日)</li> <li>・地元商店の出展、トン汁サービス、オカリナと太鼓の屋外演奏会等</li> <li>・報道(JA相模原市HP、神奈川新聞、毎日新聞、広報さがみはら南区版、タウンニュース、TVK等)</li> </ul> <p>◇自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報道などのPR効果があったため、遠方からの来客が増えた。今回は毎日、見学者のカウントをとって記録したが、昨年比+2,000 人であった。</li> <li>・デイサービスを受けている方が、多く来場し、地域貢献も出来た。</li> <li>・春の芝ざくら、秋のざる菊が、新磯地区で定着しつつある。</li> <li>・台風 15 号の影響を受け、痛んだ菊もあり、植替えをして花見会が開催できたことで、皆さんに喜んで頂けた。</li> <li>・昨年は、PRや道案内を課題としてやっていたが、今年は、昨年の反省を活かし、会場等での安全管理、地元商店の参加、オカリナな太鼓の演奏など、来場者へのおもてなしも配慮することができ、イベントの質や団体としての能力も高まったと思う。</li> <li>・地域の方のご協力もあり全体的に盛り上がったと思われる。今後も、各方面の協力をいただきながら、秋の新磯地区を元気にしていきたい。</li> </ul> |
| 市 評 価  | <p>昨年度の反省とした、安全対策やサービス向上については、交通安全指導員の配置や地元商店の出展と太鼓やオカリナ演奏などを式典日に実施したりして、大きく改善された。また、地元や他団体との連携、団体の役割分担なども強化されており、組織力が向上した。色鮮やかで、日々その色合いを変えるざる菊の魅力により、地区内の交流もさらに深まるとともに市内外からの交流人口も着実に増えており、ざる菊を通じた秋の新磯地区の魅力づくりに成功し地区の活性化に寄与した。</p>  |
| 備 考    |   |

|        |  |                   |
|--------|--|-------------------|
| 申請事業名  | 相模川下磯部地区芝ざくら植え替え保全事業   | 【 No. 2 】         |
| 申請団体   | 相模川芝ざくら下磯部愛好会  |                   |
| 事業目的等  | <p>相模川の自然と環境を守るため堤防敷きに「芝ざくら」を植え育て不法投棄の防止と河川環境の改善を図るため下磯部自治会、老人会及び大凧保存会が結束して、平成 16 年 7 月「相模川芝ざくら下磯部愛好会」を結成し、平成 16 年度から 18 年度の 3 か年間で延長役 540m 区間の堤防を整備すると共に芝ざくらを植栽し、今日まで地域が一丸となって、その育成と維持管理を実施している。</p> <p>芝ざくらは植栽後 4～5 年経過すると老化し枯れはじめますので、順次新しい苗に更新させ維持管理をしなければなりません、延長や植栽面積も広いことから植え替えをする苗の確保が財源的な面で大きな課題となっております。従って、枯れはじめた芝ざくらの更新対策がより一層必要でありますことから、今回地域活性化事業交付金の活用を受け苗の購入費用に充てると共に魅力ある整備に努めてまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法面整備、芝ざくら苗の植え替え</li> </ul>   |                   |
| 交付決定日  | 平成 23 年 5 月 25 日   |                   |
| 交付決定金額 | 500,000 円  | (全体事業費 508,028 円) |
| 団体実績報告 | <p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法面整備を施し約 70M の区間に 4,670 株の芝ざくらを植え替えた。</li> <li>・地域の特色を生かし「相模の大凧」の文字を型どり植栽した。</li> <li>・自治会、老人会、大凧会員の協力を得て実施した。</li> </ul> <p>◇自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相模の大凧まつり下磯部会場のメイン広場付近を植え替えることから、天保年間から継承され伝統行事となっている「相模の大凧」の文字を型どり、相模原市の観光資源の拡大と河川環境の改善に寄与した。</li> <li>・継続は力なりといいますが、毎年 4 月になると相模川の河川敷には立派な芝ざくらの花が一斉に咲き誇り、毎年訪れる人も増え、開花を楽しみにされています。しかし、このためには毎月 1 回の除草作業は必須条件となっています。特に真夏の炎天下の作業は大変です。ましてやこれがボランティア活動の一環として継続していくためには携わる地域の人達の理解と協力、そして情熱が必要です。今回の植え替え作業の実施にあたっては、題字型枠の制作をはじめ法面整備や苗の植え替え作業、そして後片付けや散水作業等一連の作業に対しまして地域の皆さんのたゆみない理解と協力があったからこそ実施できました。</li> </ul> |                   |
| 市評価    | <p>昨年、今年と植え替えた芝ざくらは、2年もあれば一面敷き詰めた満開の花が楽しめるようになり、シティセールスの他、環境保全の点でも多大な貢献をされており、地域が益々元気になる取組である。</p> <p>圏央道の開通もせまり、各所からの期待も高いことから、いつまでも持続的に活動が行われるよう期待します。</p>   |                   |
| 備考     |  |                   |

|        |  |                   |
|--------|--|-------------------|
| 申請事業名  | 相模川新戸地区芝ざくら植え替え保全事業  | 【 No. 3 】         |
| 申請団体   | 新戸芝ざくら管理委員会  |                   |
| 事業目的等  | <p>相模川新戸地先第1堤防の法面は、高さ2メートルを越える雑草が繁茂し、また不法投棄が絶えないことから、この堤防の法面を綺麗に整備すれば、不法投棄やごみの投棄はなくなるだろうと考え、「孫への遺産 花の絨毯 芝ざくらづくり」をモットーに、平成14年9月から相模川に芝ざくらの植栽を開始し、現在では約 1,662m、8,603 m<sup>2</sup>の区間の芝ざくらの育成と維持管理をすることにより、毎年、花の咲く頃には、多くの市民等に憩いの時間を提供するとともに、相模原市の観光振興に寄与している。</p> <p>芝ざくらは植栽してから4～5年もすると老化して枯れ始めてしまうので、順次植え替えを行う必要があり、また面積が拡大していることから、近年は植え替えにかかる自主経費の課題や人材不足が深刻化していました。このため、新たな地域の協力者の参加を募りながら芝ざくらの苗を大量に購入し植え替え、芝ざくらラインの保全を推進するとともに、さらなる相模原市の観光資源の魅力向上に寄与する。</p> <p>・法面整備、芝ざくら苗の植え替え</p>  |                   |
| 交付決定日  | 平成23年 5月25日  |                   |
| 交付決定金額 | 500,000 円  | (全体事業費 653,058 円) |
| 団体実績報告 | <p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・枯れた芝ざくらの撤去と土壌改良</li> <li>・法面整備</li> <li>・総延長 1,662Mに対し、163Mの植替えを予定したが、法面の整地で課題が発生し、幅と面積が拡大したため、購入した芝ざくらの苗で植栽できる 120Mを実施</li> <li>・約 660 m<sup>2</sup>に、11,040 株(苗)を植えた。</li> <li>・法面整備に問題が出て遅れたことと冷え込みが厳しく地盤が凍ってしまい、3月にやっと植え付けすることができた。</li> <li>・会の組織見直し</li> </ul> <p>◇自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川敷への不法投棄防止に貢献した。</li> <li>・今年行った場所は、芝ざくらが枯れ、土壌が目立つ場所であったが、新しい芝ざくらを植えることができ、2年もすれば元気な姿をみせることだと思う。</li> <li>・今年の芝ざくらまつりは震災の影響のため中止をした。今年の状況は、昨年植え替えたこともあり、もう少し時間が必要な状況であった。また、枯れてしまった区間もだいぶ長くなっていたが、今回の交付金ではひどい状態の部分を植え替えることができたので、来年、再来年と順調に育ってもらい、訪れる方々を楽しませることが出来る。</li> <li>・組織体制の見直しを行い所期の目的である「孫への遺産」としていつまでも芝ざくらラインを残していきたい。</li> </ul> |                   |
| 市評価    | <p>昨年、今年と植え替えた芝ざくらは、2年もあれば一面敷詰めた満開の花が楽しめるようになり、シティセールスの他、環境保全の点でも多大な貢献をしており、地域が益々元気になる取組みである。</p> <p>会長が変わり組織の体制も見直しされている時期でしょうが、圏央道の開通もせまり、各所からの期待も高いことから、いつまでも持続的に活動が行われるよう期待する。</p>   |                   |
| 備考     |  |                   |

|        |  |                   |
|--------|--|-------------------|
| 申請事業名  | 勝坂歴史公園芝ざくら植え替え事業   | 【 No. 4 】         |
| 申請団体   | 勝坂芝桜愛好会  |                   |
| 事業目的等  | <p>勝坂歴史公園(全体面積 6,700 m<sup>2</sup> 管理面線 5,200 m<sup>2</sup>)に植栽している芝ざくらの植えかえと新規植栽を行う。</p> <p>草木に覆われ物騒な場所であった勝坂歴史公園を平成 18 年度から市アダプト制度で除草するとともに、訪れる市民のよりよい憩いの場所となるよう芝ざくらを植栽し、平成 20 年度からは「勝坂芝ざくらまつり」を開催することにより、地域の活性化にも努めてきたが、会の高齢化が進むなどにより活動の継続性に課題があることから、新たな仲間づくりを推進し活動の活性化を図る。</p> <p>・芝ざくらの植え替えと新規植栽</p>   |                   |
| 交付決定日  | 平成 23 年 5 月 25 日   |                   |
| 交付決定金額 | 240,000 円  | (全体事業費 249,362 円) |
| 団体実績報告 | <p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6 月に、市公園課から、勝坂歴史公園の園路拡幅工事が決定したため、工事付近の芝ざくらを移植することになり、8 月 9 日に移植が完了した。なお、公園課の工事が 10 月中旬に行われたため、植栽はその後となった。</li> <li>・10 月に土壌整備、11 月 7 日から 12 月 10 日まで植栽</li> <li>・高齢者の健康を考慮し、2 人組みのペアを組んで交互に作業した。</li> <li>・2,050 ポットの植栽を行う。</li> </ul> <p>◇自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園路の整備の効果を相まって、環境美化、防犯効果、健康づくりなど、相乗効果が出ていると思う。</li> <li>・来春には、特養老人ホームの運営がはじまるため、その頃には昨年植えた芝ざくらを含め、一面ピンクの絨毯を引きつめた状態となるので、ホームの方々も楽しむことができる。</li> <li>・新磯地区まちづくり懇談会で要望していた、勝坂歴史公園の園路の拡幅が急遽決定したが、我々も芝ざくらによって、この周辺をきれいに安全に出来たことは大変いいことだと思っている。</li> <li>・昨年は 2,500 ポット、今年は 2,050 ポットを植栽した。来年はきれいな芝ざくらが一面見られると思う。</li> </ul> |                   |
| 市評価    | <p>新磯地区には、相模川沿いの芝ざくらラインを維持管理する新戸と下磯部地区があり、仲間づくりには配慮が欠かせないことが大きな課題にある。昨年は地元自治会との協力関係を深めることができなかつたこともあり、地区老人クラブとの関係を研究しているようである。前述のとおり課題はあるが、勝坂歴史公園の環境保全や歩行者の安全安心面について事業効果が反映されている点は評価に値すべき活動であり、また、隣接に特養老人ホームの開所を控え、植え替えの成果が現れる来春には勝坂の芝ざくらまつりの開催によって、地域に活気をもたらせると期待しています。</p>   |                   |
| 備考     |  |                   |

|        |   |                  |
|--------|---|------------------|
| 申請事業名  | 新磯菊花・仲間づくり事業  | 【 No. 5 】        |
| 申請団体   | 新磯菊親会   |                  |
| 事業目的等  | <p>菊花展に出展する菊づくりを通し、伝統ある菊文化の継承と地域の仲間作りを推進し、各種事業団体と連携を図りながら菊花展を開催することにより、地域の人々とのコミュニケーションを深め、賑わいのある秋の新磯地区の地域活性化に寄与することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・菊花展に展示する菊をつくるとともに仲間作りを推進</li> <li>・菊花展を開催するとともに各種事業との連携を図り、事業PRにも力を入れて取組</li> </ul>   |                  |
| 交付決定日  | 平成23年 5月25日   |                  |
| 交付決定金額 | 65,000 円  | (全体事業費 65,000 円) |
| 団体実績報告 | <p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新磯観光協会PRポスターへの掲載 ・観光事業支援事業からテント、幟旗等の借用</li> <li>・新磯地区自治会連合会からの支援(ポスター掲示の依頼、11月1日号地域情報紙に記事掲載)</li> <li>・菊花展(新磯公民館・新磯まちづくりセンター敷地)約130名が見学(昨年より増加)</li> <li>11月2日(火)会場準備</li> <li>11月3日(祝)～11月9日(水)菊花展</li> </ul> <p>◇自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・菊花展の運営については、役員の役割分担を細分化・明確化することで効率的な運営を行うことができた。</li> <li>・菊花展を開催することにより、伝統ある菊文化の紹介と地域の仲間づくりを進めることができた。また、新磯観光協会の支援を受け、さる菊会場にポスターを掲示してもらうなど、地域の人々とのコミュニケーションを深められ、秋の新磯地区を少しでも活性化することに寄与できたのではないかと考えます。</li> <li>・昨年は福祉の集いで菊花のプレゼントを行いながら事業PRを行ったが、今年は敬老・福祉事業となり、開催時期が花が咲く前となってしまい、協力することが出来なかったことは非常に残念でありました。その代替として、菊花展開催場所へ団欒スペースを設け、気軽にコミュニケーションがとれるよう工夫した。</li> </ul> |                  |
| 市 評 価  | <p>2年目の今年は、団体運営部分と地区活性化へ貢献する部分とを明確に分離し、菊花展のイベント部分を各種事業と情報発信機能を共有し、相乗効果を得ながら地区全体を活性化する共通の目的をもって取組んでくれた。</p> <p>新磯地区には、更なるふるさと観光を盛り上げる気運があり、そうしたソーシャルキャピタルの輪の中に入ることによって、大きな力を発揮できると思いますので、今後も秋の新磯の活性化に寄与していただくためにも、主体的に仲間づくりを進めてほしい。</p>  |                  |
| 備 考    |   |                  |

|        |  |                   |
|--------|--|-------------------|
| 申請事業名  | 新磯地区観光イベント支援事業   | 【 No. 6 】         |
| 申請団体   | 新磯観光協会   |                   |
| 事業目的等  | <p>新磯地区は、相模の大凧まつりや相模川芝ざくらまつり、自治会と協力して取組む新磯桜まつり、市民団体主体のざる菊花見会などのイベントが開催される地域資源が豊富なすばらしい地域であるが、イベント主催者は地域住民を中心とした実行委員会や団体が複数あり、イベントを開催する際には、それぞれの団体において情報発信やPR活動並びに備品等の不足対応や準備を行っている現状から、総合的な観光イベントへの支援が求められている。</p> <p>新磯地区で実施されるイベントに係る相談や物的支援を行うとともに、情報集約やネットワーク化の構築による総合的な情報提供サービス活動を行い、新磯地区の観光イベントのさらなる活性化や魅力づくりを推進し、新磯地区のふるさと観光によるまちづくりを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新磯地区のイベントのセールスを拡充</li> <li>・新磯観光協会が購入し所有するイベントグッズを拡充</li> <li>・魅力を高めるための相談対応や支援</li> </ul>   |                   |
| 交付決定日  | 平成23年 5月25日  |                   |
| 交付決定金額 | 486,000 円  | (全体事業費 725,630 円) |
| 団体実績報告 | <p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸出用のエアアーチ、テント等を購入した。</li> <li>・11月時点で8団体のイベント支援を行う。</li> <li>・PR事業として、秋の新磯イベント一覧ポスター及びチラシの作成及び配付(南区及び南区各まちづくりセンター、相模の大凧センター、JR相武台下駅等に設置掲示依頼)した。</li> <li>・新磯まちづくりセンターには、手作りポスター等を掲示依頼し、随時PRに努めた。</li> </ul> <p>◇自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各イベントには、新磯観光協会の幟旗が設置され、それぞれのイベントが地域をあげて応援していることをPRすることが出来ており、寄せられた声からは非常に地域に一体感が出ていると好評である。地域の観光振興についてのリーダーシップを示すことが出来た。</li> <li>・それぞれのイベント会場等に、他団体の事業PRポスター等を掲示するよう調整した結果、多くの会場で相互PR活動を推進することができ、新磯地区のイベント情報ネットワーク化を推進することができ、それぞれの団体の活発化に繋がっていると考える。</li> <li>・PR事業として行った、秋の新磯イベント一覧ポスター及びチラシの配布については、外部からの問い合わせや反響があったことから、一定の効果が得られたと考える。</li> <li>・新磯地区のふるさと観光が一層推進できた。</li> </ul> |                   |
| 市評価    | <p>平成23年度から、まちづくり会議が提示した地域課題の解決に関する課題は、優先的に対象事業として取り扱うことと改定されたが、まちづくり会議の意見からは、観光事業に係る事業を優先すべきと意見されたことを受け、市のみならず、地域の期待を受けて取組むことが、地区の観光リーダーである新磯観光協会の責務だと考えています。</p> <p>こうした背景から、昨年度から取組んでいる内容は、地区のふるさと観光振興団体として機能を発揮しており、華(花)のあるまち、人がふれあうまち「新磯」を目指したソーシャルキャピタルの輪をより強固にするものであったと評価すべきであり、地区特有の課題の解決に取り組んだと考えます。</p>  |                   |
| 備考     |  |                   |

|        |  |                   |
|--------|--|-------------------|
| 申請事業名  | 共助意識の啓発事業～東日本大震災から一年～  | 【 No. 7 】         |
| 申請団体   | 新磯地区自治会連合会   |                   |
| 事業目的等  | <p>大規模災害時に、地区住民が、お互いに助け合い、協力し合って、災害に立ち向かう「共助」の考え方の普及啓発を図るとともに、普段からの根幹の部分である地域コミュニティの拡大・強化を図るための自治会への加入を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新磯地区防災チラシ(A4・カラー)の発行</li> <li>・自治会員への配布</li> <li>・新磯小学校全生徒に配布(保護者向け)</li> <li>・地区内の官公庁施設や商店等にも配架依頼</li> </ul>   |                   |
| 交付決定日  | 平成24年 2月13日  |                   |
| 交付決定金額 | 130,000 円  | (全体事業費 130,000 円) |
| 団体実績報告 | <p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の共助の意識啓発を図るため、「新磯防災(A3・4 ページカラー)」を創刊し、8,000部作成した。</li> <li>・自治会加入世帯 3,617 世帯及び新磯小学校全児童の全 580 家庭に各戸配布するとともに、新磯ふれあいセンター、新磯こどもセンター、保育園・幼稚園、相模原市農業協同組合新磯支店、地区内商店等で配架した。</li> </ul> <p>◇自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災から一年が経過するこの時期に啓発できた意義は大きい。</li> <li>・「共助」の部分を中心に構成したことで、地区内部における意識強化につながったと感じている。</li> <li>・地区で話題となっている災害時の要援護者支援に関する取り組みについては、地区の住民がお互いに助け合う気持ちが必要であることから、そういった面の効果が生まれていると、今後の活動が展開しやすくなる。</li> <li>・地区で大勢の子どもが集まる新磯小学校の対応は、地区住民にとっても関心が高く、学校でできないことを地域で行う意識が広がると、普段からの地域コミュニティも拡大してくると思う。</li> <li>・自治会では、自治会に加入しない世帯や脱会する世帯の取り扱いに課題があり、その対策に悩んでいるが、今一番重要であろう防災の視点から、地域のつながりの必要性を説いたように、今後も有効な方法を見つけながら、普段の地域コミュニケーションの必要性を啓発していきたい。</li> </ul> |                   |
| 市 評 価  | <p>東日本大震災の尊い犠牲から、人と人を結ぶ絆の大切さや地域コミュニティの重要性を再認識し、お互い様の助け合いである「共助」をテーマに、工夫を凝らしたお知らせを作成したと感じています。</p> <p>自助、共助、公助のうち、共助が促進されてくれば、普段からの地域コミュニティが活発化し、防災以外にも、防犯・交通・環境・衛生、福祉などの面でも好影響が出でるものと期待しています。</p>  |                   |
| 備 考    |  |                   |

|        |   |                   |
|--------|---|-------------------|
| 申請事業名  | 帆かけ舟の造舟と継承記録事業  | 【 No. 8 】         |
| 申請団体   | 相模原市磯部民俗資料保存会   |                   |
| 事業目的等  | <p>平成 23 年度から 24 年度にかけて、帆かけ舟の新舟を制作するとともにその作業工程を記録した文化資料をまとめることにより、相模川の自然を大切に、地区の古き良き文化を次代へ継承する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・舟を制作するための原木の確保及び切り倒しと保存</li> <li>・舟大工経験者との調整と造舟の準備</li> <li>・資料としての記録保存</li> </ul>  |                   |
| 交付決定日  | 平成 24 年 2 月 28 日  |                   |
| 交付決定金額 | 390,000 円   | (全体事業費 409,500 円) |
| 団体実績報告 | <p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議開催(複数回) ・事業計画及びスケジュールの決定</li> <li>・舟大工の調査及び協力依頼 ・舟大工とともに造舟に適した木材の調査及び購入</li> <li>・製材所の調査及び事業協力の依頼 ・木材の切り倒し、運搬、保管</li> <li>・ビデオ記録相談及び実施 ・ホームページ(さがみはら地域ポータルサイト)掲載相談</li> </ul> <p>◇自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区で蘇った帆かけ舟を守り、育て、次代につなげる上で、非常に大きな課題であった新舟の造舟に着手することにより、上磯部地区全体に活気が溢れた。</li> <li>・舟をつくる知識や経費などの課題があり会で躊躇していた面があったが、新磯まちづくりセンターからご支援を受け、2年かけて行うことに意見がまとまり、同時に会が新磯のまちづくりに寄与する責任などの自覚が芽生えた。</li> <li>・相模川で舟を制作していた舟大工をみつけ、協力相談をした結果、本事業に賛同くださり、一緒に会議や木材、製材の調整などに参加してくれたことは、素人の我々にとっては、継承するための記録を作成する上でも非常に効果的であった。また、映像による記録についても協力団体からの賛同を得て進めることができたことは有効だと思う。</li> <li>・この造舟の機会を契機として、この帆かけ舟が、この地区の文化として継承されるとともに、地域づくりの一助を担っていくよう、努力してまいりたい。</li> </ul> |                   |
| 市 評 価  | <p>事業計画がなかなかまとまらず心配する面もあったが、結果的に十分に時間をかけてきたことで、協力や連携が生まれるなどにより、内容が充実し会の活動力が高まったのではないのでしょうか。</p> <p>事業はこれからが本番だと思いますが、今後も、皆さんの原点である地区の先代の想いをのせた帆かけ舟の勇姿を、たくさんの人にみてもらえるようご活躍を期待します。</p>  |                   |
| 備 考    |   |                   |